

数理物質科学研究科

博士前期課程 推薦入学試験

(数学、物理学、化学、電子・物理工学、物性・分子工学専攻)

出願から入学までのフローチャート

出願資格・推薦要件を確認しましょう！

次のいずれかに該当する場合は、
出願資格審査は**不要**

- 大学(4年制)を卒業した者・卒業見込みの者
- 学士の学位を取得した者・取得見込みの者
- 教育職員免許法による一種または専修免許状を有する者(22歳以上)
- その他

[推薦要件]

専攻別に定める推薦要件を確認してください。

<出願資格の詳細はこちら>

次のいずれかに該当する場合は、
出願資格審査は**必要**

- 短期大学または高等学校を卒業した者
- 専門学校または各種学校を卒業した者
- 16年に満たない学校教育制度の外国の大学を卒業した者
- その他

[推薦要件]

専攻別に定める推薦要件を確認してください。

<出願資格の詳細はこちら>

〈志望する指導教員と事前に連絡をとってください〉
〈研究分野に関する問い合わせ先(専攻)はこちら〉

出願に必要な証明書等
早めに準備してください。

出願に必要な証明書等
早めに準備してください。

入学願書等

出願書類のダウンロードはこちらから
願書等記入例はこちらから

入学願書等

- 出願資格審査様式
あらかじめ申し出てください。
- 通常の出願書類
出願書類のダウンロードはこちらから

検定料納付

出願前に納入してください。

出願資格審査

平成28年(2016年)6月1日までに書類一式を提出して下さい。

本学大学院で、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか否かを審査します。

出願
資格審査に
合格した者

出願期間

平成28年(2016年)6月9日～6月10日必着
提出書類に不備があった場合は受理しません。

受験票

平成28年(2016年)6月17日に発送します。

受験者心得

本学ホームページにて平成28年(2016年)6月20日に
掲載します。

試験日程

平成28年(2016年)7月5日

合格発表

平成28年(2016年)7月13日

入学手続書類

平成29年(2017年)2月17日に発送します。

入学手続

平成29年(2017年)3月上旬

受験の際に特別な配慮を必要とする者
特別措置の申請

障害のある者で受験の際に特別な配慮を必要とする者は
平成28年(2016年)6月1日までに「所定の申請書、診
断書、障害者手帳の写し」を提出して下さい。

1. 募集人員

専攻	募集人員	備考
数学	4名	
物理学	15名	連携、物質・材料工学コースを含む
化学	10名	連携、物質・材料工学コースを含む
電子・物理工学	10名	連携、物質・材料工学コースを含む
物性・分子工学	10名	連携、物質・材料工学コースを含む

- 連携に関しては、「11. 連携大学院方式」をご覧ください。
- 物質・材料工学コースは、国立研究開発法人物質・材料研究機構を基盤とする3年制博士課程「物質・材料工学専攻」に対応する博士前期課程の履修コースです。

2. 出願資格

出願資格

次のいずれかに該当する者

- 大学（4年制）を卒業した者及び平成29年(2017年)3月に卒業見込みの者
- 学士の学位を取得した者及び平成29年(2017年)3月までに取得見込みの者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年(2017年)3月までに修了見込みの者
- 文部科学大臣の指定した者
- 本学大学院において行う出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び平成29年(2017年)3月までに22歳に達する者
- その他

（詳細はこちらから：上記以外の出願資格及び資格審査の有無はここで確認してください）

推薦要件

(1) 数学専攻、化学専攻

出願資格を有する者で、次の①、③のいずれかの推薦要件に該当する者のうち、所属長又は指導教員等が責任をもって推薦又は自己推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

(2) 電子・物理工学専攻、物性・分子工学専攻

出願資格を有する者で、次の②、③のいずれかの推薦要件に該当する者のうち、所属長又は指導教員等が責任をもって推薦又は自己推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

(3) 物理学専攻

出願資格を有する者で、次の③の推薦要件に該当する者のうち、自己推薦のみを必要要件とします。

- ① 出願時まで修得した単位のうち、A（優）の評価を取得した科目の単位数が、総取得単位数の70%以上を占める者。
- ② 出願時まで修得した単位のうち、A（優）の評価を取得した科目の単位数が、総取得単位数の70%以上を占めるとともに、TOEICの点数が550点以上（または、ペーパー版TOEFLが487点以上、インターネット版TOEFLが57点以上、コンピュータ版TOEFLが163点以上のいずれか）の者。
- ③ 各専攻の特定の研究分野に優れた者。
（研究分野の内容については、「教員研究分野一覧」を参照してください。）

3. 出願書類等

下記摘要欄及び願書等記入例 を参照し記入のうえ、提出してください。 出願書類
出願書類は、原本を提出してください（複写可と記載がある場合は除く）。

【本学指定様式】

書類等		提出該当者	摘要
1	入学願書	全員	所要事項を記入し、提出してください。
2	履歴書	全員 (外国人出願者を除く。)	所要事項を記入し、提出してください。
3	外国人出願者用履歴書	外国人出願者全員	所要事項を記入し、提出してください。
4	職歴調査書	職歴のある者全員	所要事項を記入し、提出してください。
5	受験票・写真票	全員	所要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用）をはって、切り取り線に沿って切り取って提出してください。上記要件に合わない場合には、受理しません。
6	机上受験票・受付票	全員	所要事項を記入し、切り取り線に沿って切り取って提出してください。
7	推薦書又は自己推薦書 (様式任意)	全員（物理学専攻は自己推薦書）	出身大学長（所属長）が作成し、厳封されたものを提出してください。自己推薦の場合は様式任意、A4判で作成してください。数理物質科学研究科物理学専攻の自己推薦書は欄外の注意書きを参照してください。
8	研究計画書	全員（物理学専攻を除く。）	入学後の研究計画を記入し、提出してください。
9	研究歴証明書	外国人出願者の該当者	外国人出願者のうち、大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、大学教育修了後、日本国内若しくは国外の大学又は大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする。）研究に従事しており、22歳に達した者及びその見込みの者は、当該機関の長等の証明を受け、提出してください。ただし、本学の大学院研究生となっている外国人留学生は、本学所定の在籍証明書（奨学金申請用）をもって研究歴証明書に代えることができます。本学設置の証明書自動発行機で交付を受け提出してください。
10	宛名シート①	全員	所要事項を記入し、提出してください。合格者に合格通知書等を送付する際に使用します。
11	出願書類等提出明細票	全員	所要事項を記入し、提出してください。
12	宛名シート②	全員	封筒（角形2号）を各自で用意し、宛名シート②に所要事項を記入のうえ、封筒にはり付け、出願書類を入れて郵送（書留速達）または、持参してください。

(注) 数理物質科学研究科物理学専攻志願者の自己推薦書は、(1) 志望動機、(2) 入学後の抱負・研究計画、(3) その他自己宣伝のための資料や自分が特に得意とする分野とその内容等の自己アピールをA4判3枚以内にまとめて提出してください。

なお、自己推薦書作成の際には、必ずホームページ(<http://www.px.tsukuba.ac.jp/~senkou/>)を参照してください。また、専攻入試説明会（詳細はホームページ参照）に参加してください。

【出願者が各自用意する証明書等】

書類等		提出該当者	摘要
1	卒業（見込）証明書 （注1）	全員	本学大学院への出願資格を満たす大学の卒業（見込）証明書を提出してください。（通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群)。） 注）修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。
2	学位取得証明書 （注1）	①外国の大学を卒業した者 ②大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者	① 外国の大学を卒業した者は学士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。 注）修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。 ② 大学評価・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）、成績証明書等学位取得に係る証明書すべてを提出してください。
3	成績証明書 （注1）	全員	① 本学大学院への出願資格を満たす大学の成績証明書を提出してください。（通常は学士の学位を取得した大学(学部・学群)。） 注）修士又は博士の学位を取得している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。 なお、 <u>編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。</u> ② 大学院修了者（修了見込みの者を含む。）は、大学院における成績証明書も提出してください。
4	TOEFLの場合は、受験者用スコア票(Examinee Score Record)、TOEICの場合は、公式認定証(Official Score Certificate)またはOfficial Score Report（注2）	電子・物理工学専攻、物性・分子工学専攻全員	外国語（英語）の選択に基づき、TOEFLの場合は「受験者用スコア票（Examinee Score Record）」、TOEICの場合は、「公式認定証（Official Score Certificate）」または「Official Score Report」の原本を出願時に必ず提出してください。上記の証明書は、平成26年(2014年)6月以降に受験したものに限りです。TOEIC Institutional Program(IP) Score Report及びTOEFL Institutional Test Score Recordは受け付けません。なお、コピーの提出は認めません。
5	受験承認書 （様式任意）	該当者	① 現に大学・大学院に在学している者（平成29年(2017年)3月卒業・修了見込みの者を除く。）は、当該大学長（所属長）による受験承認書（様式任意A4判）を提出してください。 ② 現に官公庁・学校・会社等に在職している者（非常勤、アルバイトを除く。）は、当該所属長による受験承認書又は本人の申立書（様式任意A4判）を提出してください。〔退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書（押印必要）をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、この場合は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。〕
6	国費留学生証明書 （様式任意）	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
7	返信用封筒 (362円切手貼付)	全員	長形3号封筒を用意し、この封筒に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円切手をはって提出してください。[受験票送付用]

（注1）婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本（写し可）を添付してください。

（注2）スコア票において、疑義が懸念されるような場合は、発行元に確認します。

※出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。また、入学手続き完了者のうち、日本学生支援機構奨学金申請者に限っては選考の際の審査資料の一部に利用します。

4. 検定料

30,000円（国費外国人留学生を除く）

所定の金融機関等からの払い込みとなります。

① 払込期間

平成28年(2016年)6月1日(水)から、出願期間に間に合うよう払い込みください。

② 払込場所

ア コンビニエンスストア（ローソン、ミニストップ、セブン-イレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクスに限ります。）

イ 郵便局、銀行、信用金庫、農協（JA）などの金融機関受付窓口（ATM（現金自動預け払い機）から払い込みすることはできません。必ず金融機関の受付窓口から払い込みください。）

ウ 外国在住の者は、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS）により払い込むことができます。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/shiharai.html>

③ 払込方法

コンビニエンスストアを利用する場合は、PCまたは携帯電話で専用サイト上から申し込み、情報端末等（店舗により異なります。）を使用して払い込みます。

金融機関（郵便局、銀行、信用金庫、農協など）を利用する場合は、本学指定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を使用し、金融機関窓口から筑波大学の指定口座宛に払い込みます。別途「払込用紙」を※郵送又は来校して入手してください。

※長形3号封筒を用意し、この封筒に返信用郵便番号・住所・氏名を記入し、82円切手をはったものと、「払込用紙希望」の旨のメモを同封し、下記に郵送してください。

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試

【コンビニエンスストアの場合】

ア PC又は携帯電話Web上の専用ホームページ、店内にある情報端末を利用して払い込みますので、払込用紙は使用しません。

イ 実際の操作の手順については、別紙の案内書「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照して払い込みください。

コンビニエンスストアでの検定料払込方法（PDF）

ウ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

【郵便局の場合】

ア 本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所・氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。

イ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に納めてください。

ウ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。

エ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

【郵便局以外の金融機関の場合】

- ア 郵便局以外の金融機関から筑波大学の指定金融機関（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）の口座宛に払い込む場合は、本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所、氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。
- イ 各票の「振込先」欄に、銀行名（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）欄に応じて支店名、口座番号をそれぞれ記入してください。
- ウ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。
- エ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。
- オ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

④「**検定料**収納証明書（収納印**不要**）」（コンビニ払込）又は「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」（金融機関払込）を入学願書の所定欄にはり付けてください。

「検定料収納証明書」又は「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」が所定欄にはり付けられていない場合は、出願を受理しません。

5. 出願方法

- (1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、出願書類等提出明細票で確認のうえ、下記(2)の出願期間中に下記(3)受付場所に持参するか、又は郵便局で書留・速達にして教育推進部教育推進課あて郵送（必着）してください。
なお、提出（持参または郵送）にあたっては、本学所定の宛名シート②に所要事項を記入し、提出する封筒にはり付けてください。
- (2) 出願書類の受付期間
平成28年(2016年)6月9日（木）・6月10日（金）9時～15時（昼休み12時～13時）
（持参、郵送とも期間内に必着のこと。期間終了後到着分は受理しません。）
- (3) 受付場所
筑波大学 本部棟高層棟8階会議室
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1
受付場所周辺地図URL：http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html
- (4) 出願書類を受理したときは、6月17日（金）に「受験票」を送付します。
なお、6月24日（金）までに受験票が到着しないときは、教育推進部教育推進課に照会してください。
- (5) 出願にあたっての注意事項
- ① 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください。
 - ② 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
 - ③ 出願書類及び既納の検定料は、返還しません。

6. 選抜方法等

○選抜方法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、合格候補者を決定します。

○学力検査日程・試験科目等

下記の日程により実施します。

数理物質科学研究科

数理物質科学研究科への出願者は、研究科ホームページ(<http://www.pas.tsukuba.ac.jp>)を参照してください。

月日	7月5日（火）
----	---------

科目 (配点)		筆記試験 (100点)	口述試験 (100点)
専攻	時間	10:00~11:30	13:00~17:00
数学		小論文 (専門等に関する知識をみる)	面接 (個別面接を行う。専門等に関して試問する)

月日		7月5日 (火)	
科目 (配点)		口述試験 (100点)	
専攻	時間	10:00~12:00	13:00~17:00
物理学		面接 (専門並びに提出書類に関連した試問を行う)	

月日		7月5日 (火)	
科目 (配点)		筆記試験 (100点)	口述試験 (100点)
専攻	時間	10:00~11:30	13:00~17:00
化学		小論文 (専門等に関する知識をみる)	面接 (個別面接を行う。専門等に関して試問する)

月日		7月5日 (火)		
科目		外国語(100点)	筆記試験 (100点)	口述試験 (200点)
専攻	時間	-	10:00~11:30	13:00~17:00
電子・物理工学		英語 (英語の学力をみる。 TOEFLまたはTOEICの点数 を評価)	小論文 (専門に関する幅広い知識 をみる)	面接 (個別面接を行う。専門等 に関して試問する)
物性・分子工学				

(注) 外国語 (英語) の学力検査について

外国語 (英語) について、「1.TOEFLの受験者用スコア (Examinee Score Record) を出願時に提出」、「2.TOEICの公式認定証 (Official Score Certificate) または TOEICのOfficial Score Reportを出願時に提出」の二つの選択肢から、いずれか一つを出願時に選択します。上記の証明書は、平成26年(2014年)6月以降に受験したものが有効です。コピーの提出は認めません。筆記試験は実施しません。

外国語 (英語) の得点については、以下の基準点数を参考にしてください。以下の基準点数に達している場合には、当該専攻で実施する外国語 (英語) の得点を満点に換算します。

TOEIC	ペーパー版TOEFL	インターネット版TOEFL	コンピューター版TOEFL
860	597	98	247

○学力検査等の試験場

筑波大学 (茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1)

(詳細については、「9 受験についての注意事項等」の「受験者心得」をご覧ください。)

7. 合格発表・入学手続

合格発表

平成28年(2016年)7月13日 (水) に、本人あて「書留郵便」で可否通知書等を発送します。

入学手続

(1) 合格者には、入学手続案内（入学に際して必要な提出書類が同封されています。）を平成29年（2017年）2月17日（金）に発送しますので、これに従って入学手続をとってください。

なお、その際有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（研修命令書、休職証明書、就学承認書等のいずれか）を併せて提出してください。

(2) 入学時に必要な経費

① 入学料 282,000円（入学手続の際納付した入学料は、返還いたしません。）

② 授業料 第1期分(4月～9月分)267,900円
第2期分(10月～3月分)267,900円（年額535,800円）

（注1） 入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

（注2） 入学料については、国費外国人留学生は不要です。

(3) 外国籍の方は、入学手続時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。

なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

8. 受験の際に特別な配慮を必要とする者

障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成28年(2016年)6月1日（水）までに「所定の申請書、診断書、障害者手帳の写し」を教育推進部教育推進課へ提出してください。

特別な配慮の例

- ・ 時間延長、別室受験、着席場所の指定など
- ・ 点字による受験など
- ・ 筆記のためのパソコン、視覚補助具、補聴器など特別な道具の持ち込み・使用など
- ・ 手話通訳などの特別な要員の必要性など

これらを希望する場合には、その状態を証明できる診断書等の提出が必要になります。

9. 受験についての注意事項等

受験についての注意事項が記された「受験者心得」を一読し、その指示に従って受験してください。

受験者心得は、本学ホームページにて平成28年（2016年）6月20日（月）に掲載します。

10. 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで照会してください。

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1
筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試
電話 029 (853) 2230・2231
取扱日及び時間：月～金曜日の9時から12時15分、13時15分から17時
〔ただし、休日（国民の祝日、振替休日）を除く。〕

11. 連携大学院方式

近年の科学技術の急速な発展と高度化に伴い、研究分野の細分化、専門化が進む一方、従来の学問体系を越えて新しい境界領域が開拓され、学際的な研究が推進されるようになりました。

特に、基礎から応用分野に係る広い範囲の知識を必要とする学際研究では、専門分野を異にする研究者間の協力による総合

的な研究が重要となっており、また、これに対応する、時代に即した新しい型の研究者育成が強く求められています。

本方式は、これらの学問的、社会的要請に応えるため、筑波研究学園都市等にある多数の国立・独立行政法人・民間企業等の研究機関と連携を図り、その研究者を本学の教授（連携大学院、連係大学院）又は准教授（連携大学院、連係大学院）に任用し、最新の研究設備と機能を有する研究所において学生の研究指導を行い、教育・研究領域を多様化して大学院教育を活性化するとともに、これらの研究機関との交流を深めて新たな研究領域を確立することを目的としています。

（連合型連携大学院方式について）

現在の連携大学院方式の教育を担当する教員は、1グループ（3人）の全てが同一研究機関（企業等を含む。）から、任用されていますが、本研究科物理学専攻先進学際物理学分野で導入する連合型連携大学院の1グループは、複数の研究機関にまたがる連携教員（3人）と、研究機関と本学の仲立ちとして研究指導協力及び修学指導・学生生活支援を行うアンカー教員（本学の専任教員教授1人以上）とから構成されています。

このうち連携教員の教授または准教授1名を（主）指導教員、他の2名とアンカー教員を新たに（副）指導教員として複数指導体制をとり、現行の連携大学院方式による研究指導体制の更なる充実を図るものです。

本学側のアンカー教員は、（副）指導教員になりますが、従来のそれとは異なり、研究機関への派遣時期の調整をはじめとする、教育システム全体の管理を担います。連合型連携大学院の学生は、連携教員とアンカー教員が協議の上で作成したプログラムに基づき研究指導を受けることとなります。

出願資格詳細（推薦入学試験）

各専攻の出願資格は下記のとおりです。

下表のAからZの欄のいずれかの○に該当する者です。

研究科名	専攻名	A	I	U	E	O	K	K	K	K	S	S	S	S	S	T	T	
数理物質科学	数学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	物理学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	化学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	電子・物理工学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	物性・分子工学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

（注）A～Zからまでの出願資格については下記を参照してください。

A. 出願資格審査を要しない者

A：学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者

I：平成29年(2017年)3月に学校教育法第83条に規定する大学を卒業見込みの者

U：学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

E：短期大学又は高等専門学校で専攻科を平成29年(2017年)3月修了見込みの者で、独立行政法人大学評価・学位授与機構の修得単位に関する審査の規準を満たし、平成28年(2016年)10月に独立行政法人大学評価・学位授与機構に学士の学位（学校教育法第104条第4項第1号に規定する学位）の授与申請見込み（平成29年(2017年)3月学位取得見込み）の者

O：外国において学校教育における16年の課程を修了した者

K：平成29年(2017年)3月に外国において学校教育における16年の課程を修了見込みの者

K：外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

K：外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を平成29年(2017年)3月修了見込みの者

- ケ：我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- コ：平成29年(2017年)3月までに我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了見込みの者
- サ：学校教育法施行規則第155条第1項第5号の規定により、文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- シ：学校教育法施行規則第155条第1項第5号の規定により、文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を平成29年(2017年)3月修了見込みの者
- ス：文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等）

B. 出願資格審査を要する者

- セ：本学の大学院において行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び平成29年(2017年)3月までに22歳に達するもの（（注1）及び（注2）参照）
- ソ：平成29年(2017年)3月末日で大学に3年以上在学した者であって、本学の大学院が、本学の大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（（注1）参照）
- タ：平成29年(2017年)3月末日で外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学の大学院が、本学の大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの（（注1）参照）
- チ：学校教育法施行規則第155条第1項第7号の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本学の大学院において、教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの（（注1）参照）

※ 出願資格審査とは、本学大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があるか否かを出願前に審査すること。出願資格(セ)から(チ)のいずれかで出願しようとする者が該当します。
 次の（注1）及び（注2）をよく読み、（注1）の要領で申請してください。

（注1）出願資格セ～チで出願しようとする者については、出願資格認定審査を行いますので、あらかじめ教育推進部教育推進課へ申し出て、次の指定様式・書類を入手し必要事項を記入の上、平成28年(2016年)6月1日（水）までに教育推進部教育推進課へ提出してください。

なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。

① 出願資格セ～チで出願しようとする者

- （ア）出願者調書・・・指定様式
- （イ）通常の出願書類（但し、検定料は出願資格認定審査結果が出るまでは払り込まないでください。）
- （ウ）その他研究科が必要と認める書類

② 出願資格セで出願しようとする者のうち、原則として、外国人出願者で、大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了した者で、次の要件に該当し、かつ、本学大学院において、アの大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

要件：大学教育修了後、国内若しくは国外の大学又は大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする。）研究に従事した者及び平成29年（2017年）3月までに従事することとなる

見込みの者

通常の出願書類（但し、検定料は出願資格認定審査結果が出るまでは払込まないでください。）

（注2）出願資格に該当する者とは、短大・高専・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者（見込みを含む。）で、個人の能力の個別審査により、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者等です。

出願資格について、疑問がある場合は、あらかじめ教育推進部教育推進課に照会してください。